

平治宿・ソーラー発電装置設置と水場改修 (記 梶野)

◇実施日：平成27年11月15日 雨のち晴
◇参加者：川島 功、児島道夫、生熊敏男、梶野照雄

14日に予定されていた平治宿ソーラー発電設置作業は、雨のため中止の連絡があったが、天候の早い回復が予想されたので、前日の決定を提案し、15日の実施となった。

池原に午前8時着、用を足し持経へ向かう。途中、石ヤ塔には車が5台。三脚を立てたカメラマンが10名ほどいて、早朝から賑わっている。

持経宿には午前8時40分着。前夜泊した青木さんが出発して間もないようで、ストーブはまだ暖かい。荷物の準備をして9時少し前に平治宿へと出発した。



紅葉の石ヤ塔



千年杉を通過



平治宿到着



ソーラーパネルの取り付け準備



設置完了

平治宿到着後、すぐに作業を始める。屋根にはまだ少し湿り気があり滑りやすいので、排煙塔にロープを付けて移動の安全を確保する。パネルに取り付け金具を付けて屋根に持って上がり取り付け位置を決定。地上へ下ろして分解、穴あけ、再組立して、7回登り降りしてパネルの設置を完了。コーキングと接続を終え、屋根から脚立を外したのは午前11時30分だった。室内のコントロールボックスを取り付けたところで12時になり昼食にする。午後、室内の配線を始める。児島さんはLED電球を4個用意していたが、小屋の大きさ等から2個で充分と判断し、2ヶ所にソケットを設置する。概ね接続が完了して、平治宿に初めてのソーラー照明が点灯したのは午後1時20分だった。スマホ、携帯電話の充電設備も取り付けた。



接続作業



点灯!



携帯用充電部



平治宿出発



平治宿水場の状況



持経宿到着

作業をすべて終え、室内を清掃した後、平治宿を離れる。
 持経宿へ向かう前に水場の確認に降りた。水槽には水があふれ、
 上から絶え間なく水が流れ落ちている。当分水の心配はしなくて
 済みそうだ。

奥駆道は殆どの木々が落葉し、地上に落ち葉が敷き詰められて
 足音も「カサ、カサ」と、晩秋の魅力たっぷりだ。

午前7時頃まで降っていた雨もすっかりあがり、風が強いが好
 天となった。思ったより気温が高く、登りでは若干汗をかく。

持経宿に到着後、お湯を沸かそうとしたがガスボンベが空にな
 っている。新しい物を探すが見つからない。児島さんの魔法瓶に
 残っていたお湯でコーヒーを入れて休憩、掃除機で室内を掃除し
 て午後3時40分持経宿を離れる。

池原の国道信号手前で新宮組と別れ帰阪した。

行動タイム

池原 8:00 → 8:40 持経宿 9:05 → 9:55 平治宿・作業 → 12:00 昼
 食 12:40 → 作業 → 13:55 持経宿 → 14:50 持経宿 15:40 →
 16:20 池原

(記 梶野)